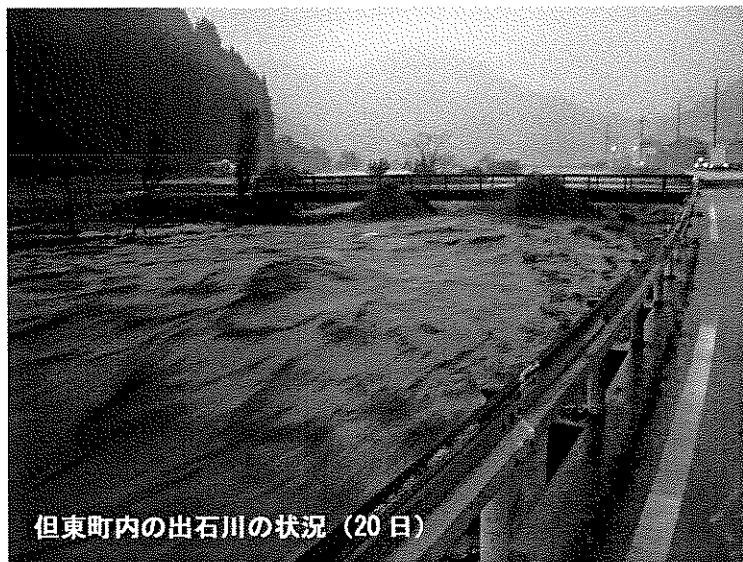


旧但東町

■被害状況

旧但東町内では、20日15時頃から出石川が増水して、道路の損壊や土砂崩れが続発し、通行不能により孤立する地区が多発した。

旧但東町における人的被害は死者2人で、住家被害は全壊12棟、大規模半壊7棟、半壊14棟、一部損壊31棟、床上浸水18棟、床下浸水164棟に上った。



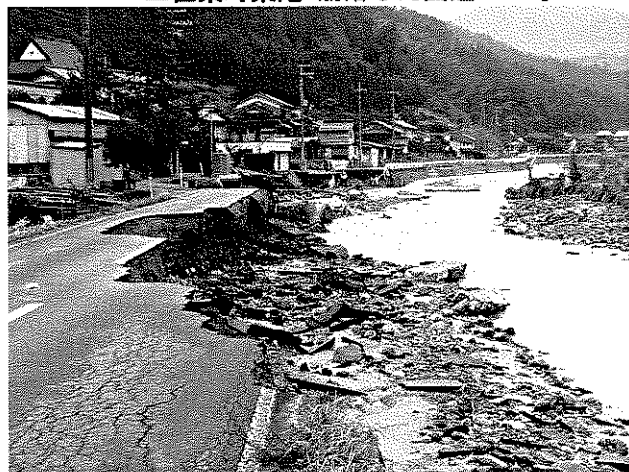
但東町内の出石川の状況（20日）



▲但東町栗尾 崩落した国道426号



▲但東町薬王寺 土石流が押し寄せた民家



▲但東町平田 崩落した国道426号



▲但東町奥赤 土石流で破壊された建物

■災害対策本部・広報活動

旧但東町では、大雨・洪水警報が発令された20日11時に災害警戒本部を設置した。その後、県民局長による水防警報が発令される前の16時に災害対策本部に切り替え、全庁的な応急体制に入った。

また、広報については、有線放送設備を使用し、避難勧告等を放送した。

■避難の状況

旧但東町では、20日14時半頃から自主避難が始まった。また、雨が特に強まった15時50分に避難勧告を発令し、翌日の6時35分までに段階的に避難勧告を解除した。

月 日	時 分	状況・対応
10月20日	14:30	自主避難始まる
10月20日	15:50	有線放送（避難勧告（栗尾））
10月20日	16:20	有線放送（避難勧告（西谷、矢根））
10月21日	1:00	有線放送（避難勧告解除（矢根））
10月21日	6:00	有線放送（避難勧告解除（栗尾））
10月21日	6:35	有線放送（避難勧告解除（西谷））

■水防・消防・救助活動

旧但東町では、20日8時に消防団に待機命令を出し、11時10分には合橋、高橋地区に出動させた。また、21日7時には消防団による行方不明者の捜索を開始した。

旧但東町を管轄する消防本部出石郡分署は、各地で相次ぐ土砂崩れや道路の崩落により、救急事案に出場する際に長距離の迂回を余儀なくされた。また、泥に覆われた道路を走行し続けた救急車がラジエーターに泥がつまってオーバーヒートし、立ち往生するトラブルに見舞われながらの活動を強いられた。

■清掃・防疫活動

旧但東町では、但東クリーンセンターを仮置き場とし、約126トンの災害ごみを処理した。処理の完了は12月下旬までかかり、処理経費に約230万円を費やした。

■災害ボランティアの受入れ

延べ682人のボランティアが、町内の復旧活動に協力した。

■義援金

受け入れた義援金は、平成17年3月31日現在で235件10,668,142円に上った。

<出典>

- 1) 国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所／明日へ生かそう！地図が伝える水害体験－平成16年10月台風23号－
- 2) 国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所／円山川浸水想定区域図／既往出水の概要。
<http://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/sinsui/index.html>

◆この資料は、台風23号の概要と旧市町における当時の災害対応記録を「概略版」としてとりまとめたものです。